

令和4年度 第2回飯山市美術館運営協議会 会議録

- 開催日 令和5年2月16日(木) 午後3時30分～5時00分
○開催場所 飯山市公民館101会議室
○参集者 委員：廣靖彦(会長) 丸山公人 吉越隆師 千坂経悦 高山顕光 伊達信寿 小林豊彦
※2名欠席
市側：松木英文(教育長) 田中良則(文化振興部長[兼]文化交流課長) 井端伸介(美術館長[兼]美術館係長) 小林隆子(美術館職員)

1 開 会

- 2 辞令交付 【今年度委員の変更があったので辞令交付を行う予定でしたが、お仕事の関係で欠席のため、後日、事務局の方で辞令を交付することとなりました。《飯山仏壇事業協同組合から選出の上海委員から明石委員》】

3 あいさつ

会 長： 今年新潟に沢山雪が降ったので、私の住んでいる羽広山は少ないかと安心していましたが、昨日の雪で朝から除雪に励んできました。

私は週一回栄村の中学校に絵を教えに行っているのですが、コロナが落ち着いたかと思うと、インフルエンザが流行したりしています。そんな中、美術館も大変ご苦労されていると思いますが、大勢の方に来ていただきたいと思っています。せっかくの機会ですのでいろいろなご意見、アイデアをお出しいただくようお願いします。

教育長： 本日は美術館運営のためにお集まりいただきありがとうございます。

コロナ禍とはいえウィズコロナということで感染予防対策をしながら経済を回し社会を活性化するうえで、美術館なども通常の開館となってきています。来年度も通常開館できる状況だと思いますので、来館者も増やしていきたいと考えています。

今年度の企画展「紙宮」では、通常の展示ではなく不思議な空間となっていました。来館者も多かったようで、今後もあのような企画展を含めて、知恵を出し工夫をして美術館が賑わって欲しいと考えています。来年度の展示をどうするか、またPRも含めてアピールの方法など検討いただきますようお願いいたします。

4 協議事項 ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

(1) 令和4年度事業について(報告)

事務局： (次第と資料のとおり説明)

委 員： 箕口さんの生誕100年を知らなかったのですが、ロビーに展示しているブロンズ像は素晴らしい作品だと思います。「記念展」として取り上げていただければと感じました。

事務局： 貴重なご意見ありがとうございます。現在、2階ギャラリーを箕口作品のスペースとして展示しています。今後も作家の没後や生誕の記念にあわせて、大勢の方に知っていただけるよう紹介含め積極的に展示していくように努めていきたいと思っています。

委 員： 企画展「紙宮」に小学6年生全員を連れてきましたが、関心をもって鑑賞することができ大変良かったです。他校にも宣伝、お知らせさせていただきました。今後も見学会・鑑

賞会等を設けて関心と親しみをもてるようにしていきたいと考えています。

事務局： ありがとうございます。

会長： 私は30年以上大阪で高校の美術教師をしていました。「興味はあるけれど行きづらい」と思っている高校生が一度でも美術館に足を運ぶ機会になるようにと、少し強引ですが感想を提出させるようにしていました。小中学生、高校生が年に一回でもいいから美術館に足を踏み入れる機会があることを願います。

委員： 学校の授業として美術館を利用してもらおう考えはいかがですか？

事務局： 授業時間内で行うことは、時間的に難しいと以前からの課題があります。が、学校と連携し改めて意識して取り組み、今後計画していきたいと思えます。

会長： 実現するには美術館側も学校側も大変かとは思いますが、スクールバスもあるようなので年に一度くらいは可能ではないかと思えます。半日でも良いのでそのような機会を持てれば良いと思えます。

教育長： 各小学校は飯山市のふるさと学習に力を入れています。美術館、ふるさと館、図書館、センター未来など学びのエリアとして秋まつりを開催しています。また行政の取り組みとして地域学習、社会科見学、文化・芸術の継承として小中学生が見学、学習に訪れたりしています。社会科の学習のカリキュラムとして美術館も組み入れられるように校長会に訴えていくことが一つの方法と考えますし、来館する学校もあると思えます。

事務局： 現在3、4年生が伝統工芸を学ぶ学年となっていて伝統産業会館に来館しています。ふるさと館は小学校の利用が多くあるので、美術館も併せて来館するような流れができればと考えます。

教育長： ふるさと学習のカリキュラムに美術館も入れることができるかどうか提案してみます。

事務局： よろしくお願ひします。

(2) 令和5年度事業計画(案)について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局： (次第と資料のとおり説明)

委員： 夏休み、春休み、その時だけの体験ではなくその後も継続していくことが大事だが、途切れることなく三年生なら三年生と続けていくことが必要だと考えますが、その辺はどうでしょうか。

事務局： 夏休み、春休み体験教室は小中学生を対象に募集するので学年は限定しておりません。様々な学年が参加しております。今後も毎回ではなくても伝統工芸に関する教室を継続的に取り入れていきたいと思えます。

また、ギャラリー展の位置づけで伝統工芸作家三人展を開催していて、今年度で2回目となっています。その中で積極的に体験教室を行い、大人も子どもも関係なく呼びかけ参加していただいています。美術館としても継続して取りくんでいく流れになっていて、その方向性で進めていきたいと思えます。

委員： 内山紙についても小学校の卒業証書づくりだけになってしまっているのが残念です。

教育長： 学区にあるふるさと学習ということで、私が飯山小学校の4年を担任していた時に、飯山仏壇事業協同組合を通して伝統工芸である彫刻、彫金、蒔絵の体験教室をおこないました。その取り組みが現在でも続いていて約20年になります。最近では他の学校でも取り入れられています。常盤小学校では、地元にある阿部製紙さんのところで紙漉き体験が始まり、他校にも波及しているのが現状です。

市の教育委員会の中で飯山の良さを体験しようというカリキュラムが組まれていて、学校の中では継続されています。美術館も体験教室を通して取り組んでいて、そこに参加す

る子どもたちがいることを嬉しく思います。

会 長： 今後について具体的にどうすれば良いのか、研究会や先生同士の話し合いの場で今の形を発展させるのか新たに何かを考えるのか、さらに前進できたらと思いますので検討していただきたいと思います。

事務局： はい。検討していきます。

委 員： 写真展があるようですが、飯山に魅力を感じている移住者の方々が飯山を活性化している面があるので、Iターンなどの新住民による展覧会なども良いのではないかと考えます。

事務局： 今後、検討していきます。

(3) 令和6年度以降の企画展等の予定について ※委員からの主な質問、意見及び事務局の回答等

事務局： (次第と資料のとおり説明)

委 員： 今、安曇野で「山下清展」をやっているが、開催するには費用的にはどのくらいかかるものなのか？

事務局： はっきりしたことはわかりませんが、飯山市美術館の企画展の平均的な予算では無理ではないかと想像します。開催金額を確かめることが難しい面もありますが、そのような情報の入手が可能かどうか、今後問い合わせる場所も含めて聞ける場所に聞いてみたいと考えます。

会 長： 現代美術も良いと思いますし、山下清さんのように一般に人気のある作家さんの展覧会も視野に入れるのも良いと思います。

(4) その他

委 員： 長期の休みの体験教室には飯山小の生徒がほとんどだったように記憶しているが、スクールバスを出して他小学校からの生徒を募ってはどうか？

事務局： 現在、飯山小のみでなく他小学校からも参加されています。単発の体験教室なので保護者の方に送り迎えしていただいております。

委 員： 今年度の企画展は2企画とも高校生にも鑑賞させたかったが、移動の時間だけで30~40分かかるので難しい。午後の2時間以内で来館するためには、30人程度が乗れるバスを出していただくと鑑賞時間が充実する。高校にも行政的な補助があればありがたい。

教育長： スクールバスは小中学校以外に貸し出し可能だと思います。野球部の遠征に行く時に貸し出ししたと思います。運転手は用意してもらうかたちになります。

会 長： 是非可能であればバスを手配していただきたい。一度体験するだけで違います。考えてみてください

事務局： 前向きに検討致します。

5 その他

事務局： 委員の任期についてご説明します。美術館運営協議会の任期は2年間となっており、今お集まりいただいている皆さまは令和5年4月末日で任期満了となります。次第3ページにあります団体推薦の方々、有識者は事務局より依頼することとなっています。ぜひ前向きに考えていただきたいと思います。

6 閉 会